

政治の怠慢でジリ貧となることだけは避けるべきだ!

日本が

ジリ貧となることだけは避けるべきだ!

国政の“ど真ん中”での貢献を誓う

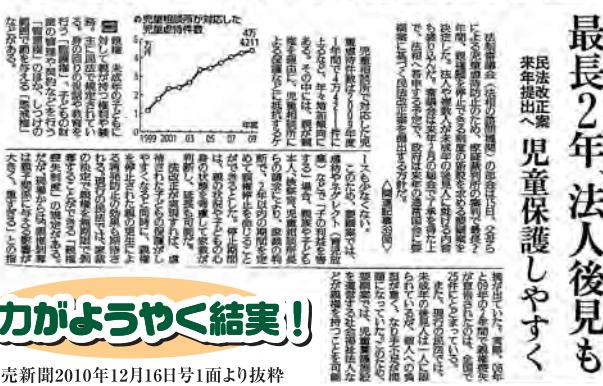


実現した
が党に提唱し、
の正式な活動です。



はせが幹事長を務める
「バレエ文化振興推進議連」

虐待の父母 親権停止



努力がようやく結実!

読売新聞2010年12月16日号1面より抜粋

はせが事務局長を務める
「ハーグ条約締結に関連する
国内法整備勉強会」



国会改革

自民だ民主だと「いつにされない

国会の日程闘争にエネルギーを浪費する政治はうんざりだ。
通年国会を実現し、閣僚の国際会議への出席も柔軟に対応し、
國益をどじどし発信・実現すべき!
政治家のスキンシップなどは、予算委員会ではなく、政治倫理審査会で審議をすればよい。
課題に迅速に取り組み、決断を下す国政運営に取り組まねば、
与野党ともに国民から見放されてしまうと思っているのは、馳浩だけではないはずだ。
何よりも、国際経済や外交から一周も2周も遅れてしまつ。
日本人にはまだまだ潜在能力がある、経済大国でもある。
日本は治安も安定しているし、向こう3軒隣の結びつきも、
伝統も文化も生活に根付いている素晴らしい国家だ。
政治の怠慢でジリ貧となることだけは避けねば。

そう考

えている仲間とともに活動し、よりひつぞう国政に貢献したい。

大連立

期間・政策限定の「大連立」も視野に

生産性のない国会闘争は国民生活にとつて意味がありません。

期間限定、政策限定の大連立（自公民）も視野に入れるべきです！

期間限定!!今任期中は解散を封じる！

政策限定!!どの政党が与党になることも、国政喫緊の難題には決断を下す！

- 憲法改正の道筋をつけ（衆参の憲法審査会を動かし）院制を目指す。まずは、都道府県中選挙区制で国會議員定数を500名とする（現行の722名から大幅削減）。
- 財政健全化責任法の成立により国家財政のプライマリーバランスを黒字化させる。
- 税制の抜本的改革により社会保障の安定的な財源（消費税を含む）確保。
- 日米同盟、日米安保体制を強化し、普天間基地の名護市沖合周辺移設に目途をつけ、東アジア地域の平和を守る。「自衛隊の海外派遣恒久法」を制定する。
- 世界経済の発展に寄与するためにも、自由貿易体制を確立し（日韓EPAなど）、二国間同士の経済連携協定を進める。

「絆」社会の再構築へ、保守の使命
具体的な提案！

地域の絆を強めるために、個人市民税の1%を地域のNPO団体に寄付できるような税制を提案します。そして、町会連合会等の自治体でNPO団体を設立し、寄付控除することによって安定的に市民活動を開拓できるように支援したいと思います。

離婚後の家庭の困窮が社会問題です。共同養育計画を法定化し、「夫婦は別れて子断絶をさせない」ようにし、離婚後も共同で親責任を果たすべきです。現在、毎年25万人近く未成年の子どもが親の離婚で困っています。何とかしなければ、家族崩壊や貧困の連鎖が止まりません。子育ての一義的な責任は両親にあります。離婚することはあるのではないかですが、民法の離婚後の単独親権制度も、共同親権制度へと改正する機運を盛り上げたいと思います！

親権の一時一部停止を今年こそ法制化し、虐待などで困っている子どもを守り、崩壊した家族を支援するための法制度を確立したいと思います。また、「この通りのゆりかご」などの施設を法定化し、法人による未成年後見制度を法定化し、身寄りのない子どもに対する支援・養護体制を確立したいと思います。